

One 国際分散投資戦略ファンド (目標リスク4%)

<愛称: THE GRIPS 4%>

追加型投信/内外/資産複合

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、国内外の複数の資産に投資し、信託財産の成長を図ることを目的として、運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2019年11月29日～2020年6月8日

第1期	決算日: 2020年6月8日	
第1期末 (2020年6月8日)	基準価額	9,278円
	純資産総額	1,683百万円
第1期	騰落率	△7.2%
	分配金合計	0円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。
(注2) △(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間: 営業日の午前9時から午後5時まで)

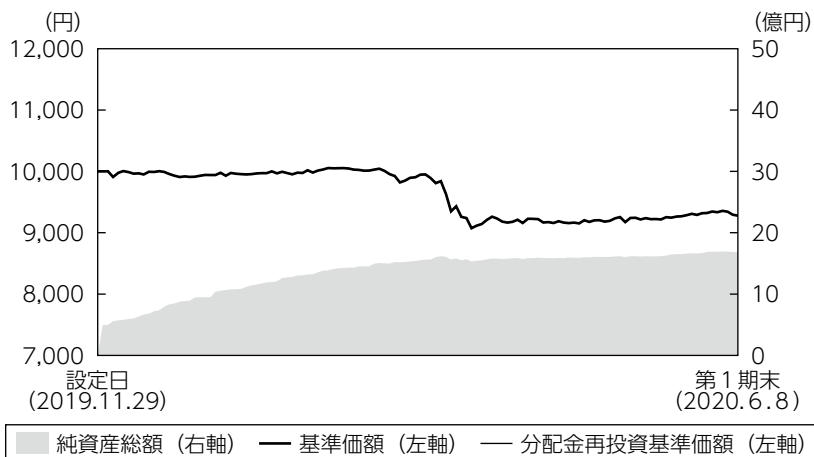
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

基準価額等の推移



設定日：10,000円
 第1期末：9,278円
 (既払分配金0円)
 騰落率：△7.2%
 (分配金再投資ベース)

(注) 設定日の基準価額は、設定当初の金額です。

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 基準価額は、設定日前日を10,000として計算しています。
- (注4) 分配金再投資基準価額は、設定日前日を10,000として指数化しています。
- (注5) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の変動要因

株式市場では、新型コロナウイルスの感染拡大等の影響を受け下落する局面がありましたが、各国の大規模経済支援策や経済活動再開への期待感を背景に市場心理が改善され設定日対比で概ね同水準となりました。債券市場は米国を中心に長期金利が低下し債券価格は上昇しました。当ファンドは、債券がプラスに寄与する一方で、2020年3月の株式市場下落局面での株式ロングポジションや、その後市場が反転した局面での米国株式ショートポジションがマイナスに寄与し、基準価額は下落しました。

1万口当たりの費用明細

項目	第1期		項目の概要
	(2019年11月29日 ～2020年6月8日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	58円	0.597%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,628円です。 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(投信会社)	(22)	(0.232)	
(販売会社)	(34)	(0.348)	
(受託会社)	(2)	(0.017)	
(b) 売買委託手数料	7	0.069	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(先物・オプション)	(7)	(0.069)	
(c) その他費用 (監査費用)	0 (0)	0.002 (0.002)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	64	0.669	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みません。

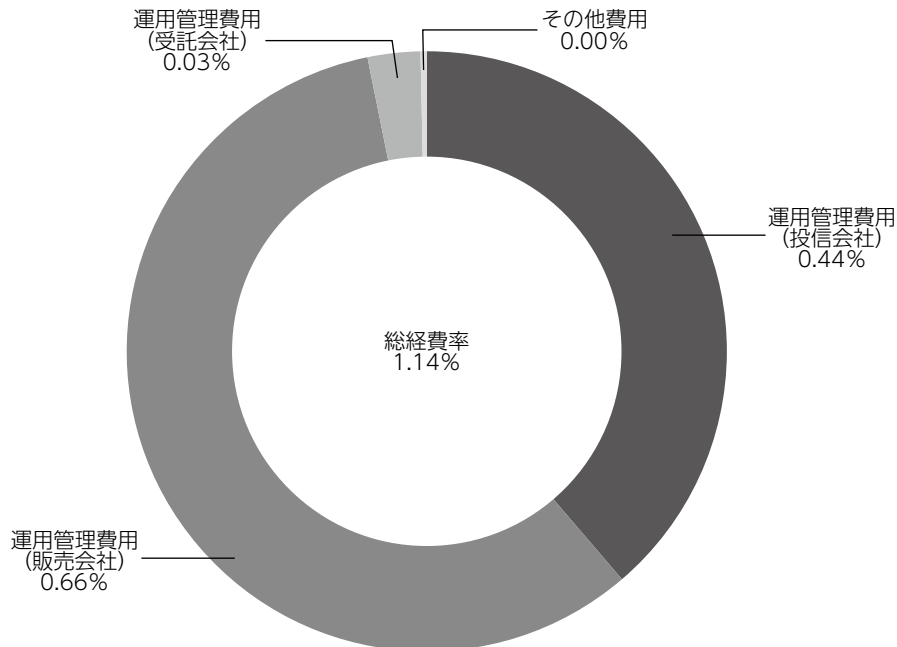
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.14%です。



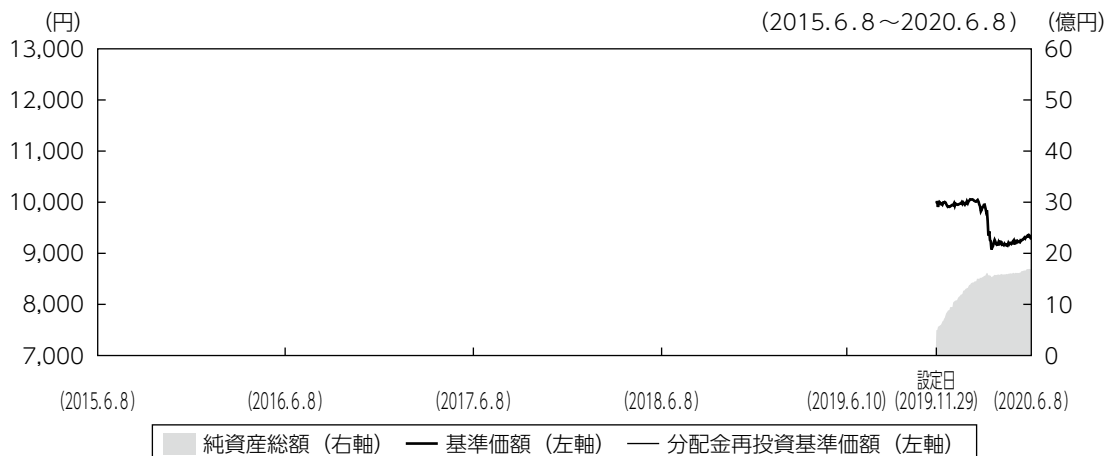
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 基準価額は、設定日前日を10,000として計算しています。
- (注4) 分配金再投資基準価額は、設定日前日を10,000として指数化しています。

	2019年11月29日 設定日	2020年6月8日 決算日
基準価額 (分配落) (円)	10,000	9,278
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	0
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	△7.2
純資産総額 (百万円)	497	1,683

- (注1) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しております。
- (注2) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指標を定めておりません。

投資環境

2020年1月に入ると新型コロナウイルスの感染拡大や原油価格の暴落等による世界経済への悪影響が懸念され、世界的に株式市場は下落し、債券市場は上昇しましたが、4月から期末にかけては各国の金融緩和策が強化されたことを受けて株式市場は反発し、債券市場は軟調な展開となりました。

米ドル/円相場は、米中貿易協議の動向に左右される展開が続いた後、新型コロナウイルスの感染拡大によるリスク回避姿勢を受けて一時円高米ドル安となりましたが、設定日対比で横ばいとなりました。ユーロ/円相場は、新型コロナウイルスの感染拡大によるリスク回避姿勢を受けて一時円高ユーロ安となりましたが、株式市場の回復を受け円安ユーロ高となり、設定日対比で概ね横ばいとなりました。

ポートフォリオについて

●当ファンド

主として世界（日本を含む）の株式、債券、通貨、商品等に実質的に投資を行い、基準価額の変動リスクが年率4%程度となるよう、ポートフォリオを構築しました。各市場および各通貨への投資比率は、統計的手法を用い、資産価格に影響を与える複数のリスク要因を抽出したうえで、各要因からファンドが受ける影響が均等になるように、月次で決定しました。その結果、2020年3月以降、市場リスクが高まった局面ではポートフォリオ全体のポジション量を削減しました。

【資産別構成】 2020年6月8日現在

資産		組入比率	
株式	米州先進国	2.9%	13.1%
	欧州先進国	5.7%	
	アジア先進国	6.9%	
	新興国	△2.4%	
債券	米州先進国	37.0%	77.9%
	欧州先進国	8.7%	
	アジア先進国	32.2%	
	新興国	—	
為替	米州先進国	2.0%	△2.0%
	欧州先進国	△3.5%	
	アジア先進国	△2.2%	
	新興国	1.7%	
商品		1.6%	1.6%
合計		90.5%	

(注1) 組入比率は純資産総額に対する割合（邦貨換算）です。

(注2) 先物取引やスワップ取引等の買建ておよび売建てを組み合わせた実質的な資産配分比率です。

● One グローバル・リスクファクター・パリティ戦略マザーファンド

統計的手法を用い、資産価格に影響を与える複数のリスク要因を抽出したうえで、各要因からファンドが受ける影響が均等になるように資産配分を月次で決定しました。その結果、ファンド全体のポジション量は期初から2020年2月頃までにかけては積み増しましたが、その後、市場のリスク回避局面で削減し、相対的に低水準で期末を迎えました。

■ 分配金

当期の収益分配金につきましては基準価額水準および市況動向等を勘案し、無分配とさせていただきました。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■ 分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2019年11月29日 ～2020年6月8日
当期分配金（税引前）	－円
対基準価額比率	－%
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	－円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

基準価額の変動リスクが年率4%程度となるよう、One グローバル・リスクファクター・パリティ戦略マザーファンドの組入比率を日次で調整してまいります。

●One グローバル・リスクファクター・パリティ戦略マザーファンド

引き続き、主として世界（日本を含む）の株式、債券、通貨、商品等に実質的に投資を行い、基準価額の変動リスクが年率8%程度となるよう、ポートフォリオを構築します。各市場および各通貨への投資比率は、統計的手法を用い、資産価格に影響を与える複数のリスク要因を抽出したうえで、各要因からファンドが受ける影響が均等になるように、月次で決定してまいります。

お知らせ

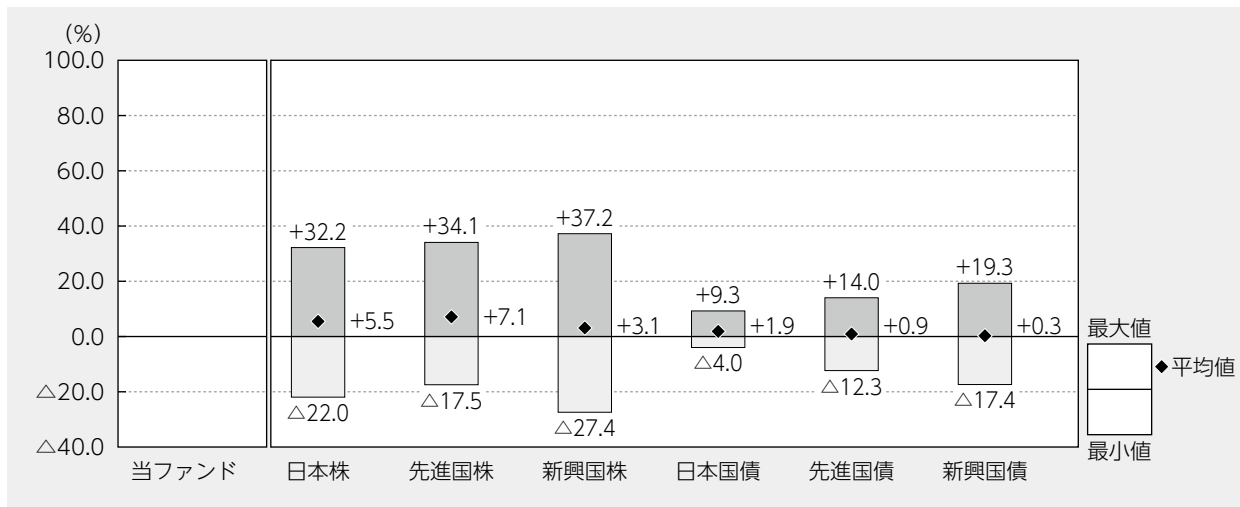
■当ファンドおよび当ファンドが投資対象とする「One グローバル・リスクファクター・パリティ戦略マザーファンド」において、クオンツ運用機能の一部をアセットマネジメントOne株式会社から Asset Management One USA Inc.へ移管しました。

(2020年4月15日)

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2019年11月29日から2030年6月10日までです。	
運用方針	信託財産の成長を図ることを目的として、運用を行います。	
主要投資対象	One国際分散投資戦略ファンド (目標リスク4%)	Oneグローバル・リスクファクター・パリティ戦略マザーファンド(以下「GRIPSマザーファンド」といいます。)受益証券、DIAMマネーマザーファンド受益証券、短期金融資産を主要投資対象とします。
	Oneグローバル・リスクファクター・パリティ戦略マザーファンド	世界(日本を含む)の株価指数先物、債券先物、商品先物、スワップ取引、指数に連動する投資成果をめざす上場している投資信託証券(ETF)および為替予約取引を主要投資対象とします。
運用方法	<p>GRIPSマザーファンド受益証券への投資を通じて、世界(日本を含む)の株価指数先物取引、債券先物取引、商品先物取引、スワップ取引、指数に連動する投資成果をめざす上場している投資信託証券(ETF)および為替予約取引を主要投資対象とし、実質的に投資します。また、DIAMマネーマザーファンド受益証券や短期金融資産にも投資を行います。</p> <p>基準価額の変動リスクを年率4%程度^{*1}に抑えつつ、中長期的にリスク水準と同程度のリターン(信託報酬控除前)^{*2}の獲得をめざして、GRIPSマザーファンド受益証券、DIAMマネーマザーファンド受益証券および短期金融資産の組入比率を調整します。ただし、投資環境によっては、DIAMマネーマザーファンド受益証券の組入れを行わない場合があります。</p> <p>※1 上記数値は中長期的なリスク水準の目標値であり、常にリスク水準が一定であること、あるいは目標値が達成されることのいずれをも約束するものではありません。</p> <p>※2 リターンは信託報酬控除前の水準であり、一定水準のリターンが達成されることを約束するものではなく、実際の運用成績がマイナスとなる可能性があります。</p>	
分配方針	<p>決算日(原則として6月8日。休業日の場合は翌営業日。)に、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益(マザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち、信託財産に属するとみなした額(以下「みなし配当等収益」といいます。))を含みます。)および売買益(評価益を含み、みなし配当等収益を控除して得た額)等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。</p>	

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



当ファンド : 2020年5月末現在、設定後1年を経過していないため、データはありません。

代表的な資産クラス : 2015年6月~2020年5月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

*各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>をご参照ください。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容 (2020年6月8日現在) (注) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

◆組入ファンド等

(組入ファンド数：1ファンド)

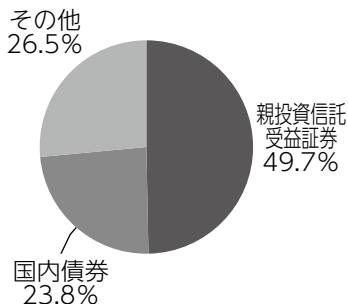
	当期末
	2020年6月8日
Oneグローバル・リスクファクター・パリティ戦略マザーファンド	49.7%
その他	50.3

(注) その他には、当ファンドが直接投資している有価証券や現金等を含みます。なお、未払金等の発生により、マイナスとなることがあります。

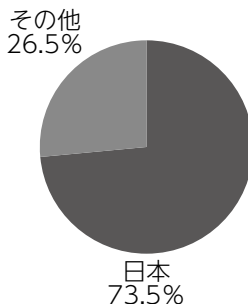
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
395回 利付国庫債券 (2年)	日本・円	11.9%
312回 利付国庫債券 (10年)	日本・円	6.0
396回 利付国庫債券 (2年)	日本・円	5.9
—	—	—
—	—	—
—	—	—
—	—	—
—	—	—
—	—	—
組入銘柄数	3銘柄	

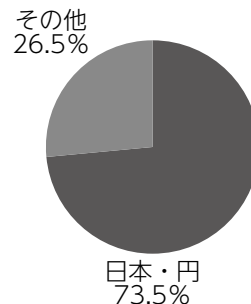
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

純資産等

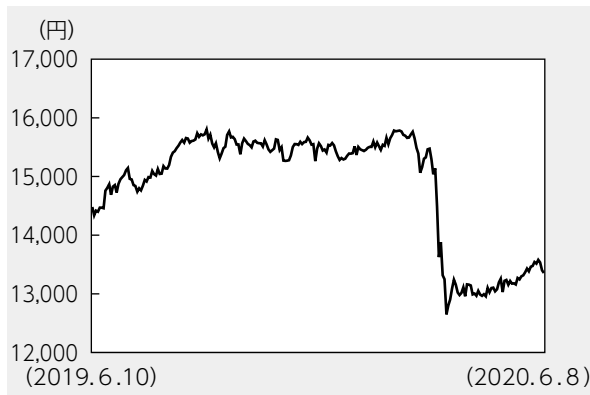
項目	当期末
	2020年6月8日
純資産総額	1,683,759,030円
受益権総口数	1,814,813,948口
1万口当たり基準価額	9,278円

(注) 当期中における追加設定元本額は1,363,570,230円、同解約元本額は45,836,608円です。

組入ファンドの概要

[Oneグローバル・リスクファクター・パリティ戦略マザーファンド] (計算期間 2019年6月11日～2020年6月8日)

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄 (現物)

銘柄名	通貨	比率
395回 利付国庫債券 (2年)	日本・円	7.3%
871回 国庫短期証券	日本・円	1.8
—	—	—
—	—	—
—	—	—
—	—	—
—	—	—
—	—	—
—	—	—
組入銘柄数	2銘柄	

◆1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (先物・オプション)	34円 (34)	0.228% (0.228)
(b) その他費用 (その他)	0 (0)	0.000 (0.000)
合計	34	0.228

◆組入上位10銘柄 (先物)

銘柄名	売買	比率
長期国債先物	買建	79.8%
US 10YR NOTE FUT	買建	54.8
S&P500 EMINI FUT	買建	23.7
TOPIX 先物	買建	20.0
CAN 10YR BOND FUT	買建	19.6
S&P/TSE 60 IX FUT	売建	18.0
EURO-BUND FUTURE	買建	17.8
LONG GILT FUTURE	買建	17.4
EURO BTP FUTURE	売建	15.8
AUST 10Y BOND FUT	売建	15.0
組入銘柄数	18銘柄	

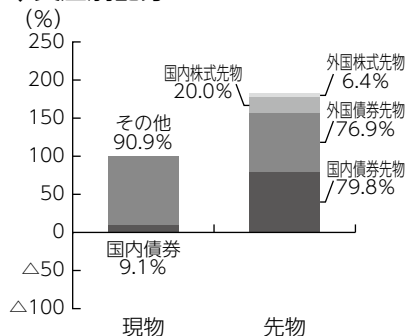
(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 1万口当たりの費用明細の金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額 (14,855円) で除して100を乗じたものです。なお、費用項目の概要及び注記については2ページ (1万口当たりの費用明細) をご参照ください。(b) その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数です。その他は、信託事務の処理に要する諸費用等です。

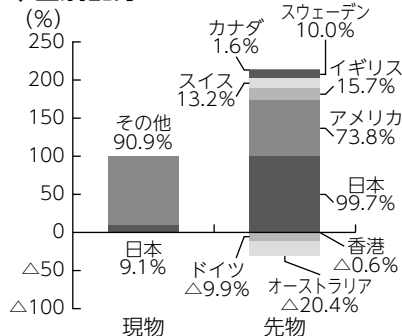
(注3) 組入上位銘柄のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

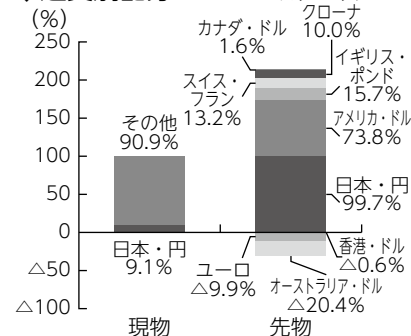
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 国別配分は、発行国(地域)を表示しています。

(注4) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注5) 先物比率は買建比率-売建比率です。

(注6) 先物(売建)はマイナスで表示しています。

(注7) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数 (TOPIX)」は、東京証券取引所第一部に上場されているすべての株式の時価総額を指数化したものです。同指数は、株式会社東京証券取引所 (株東京証券取引所) の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、(株)東京証券取引所が有しています。
- 「MSCI コクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCI エマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI 国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE 世界国債インデックス (除く日本)」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(このページは白紙です)

